（16）保健･福祉施設：高齢者福祉施設

1）施設概要

本市の高齢者福祉施設は、老人福祉センター、高齢者生きがい作業所、介護予防支援施設及びその他高齢者福祉施設の合計 22 施設あります。総延床面積は約 8 千㎡で、市が保有する施設の 0．3%を占めています。

築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 14 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 4 施設、築 20 年以下が 4 施設です。

①施設一覧（平成 31 年 4 月 1 日現在）

老人福祉センター

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	保有機能			
						浴室	集会室	リハビリ室	会議室等
1	東老人福祉センター	東区健軍本町 31 番 20 号	平成 6 年	25	208.68	○	○		○
2	西老人福祉センター	西区小島 3 丁目 3 番 26 号	昭和 48 年	46	251.72	○	○		○
3	河内老人福祉センター	西区河内町船津 2708 番地	昭和 50 年	44	663.04	○	○	○	○
4	南老人福祉センター	南区川尻 4 丁目 8 番 13 号	昭和 49 年	45	263.77	○	○		○
5	天明老人福祉センター	南区銭塘町 2172 番地	平成 3 年	28	380.47	○	○		○
6	富合老人福祉センター	南区富合町木原 2319 番地	昭和 50 年	44	537.57	○	○		○
7	城南老人福祉センター	南区城南町宮地 976 番地	昭和 52 年	42	668.81	○	○	○	○
8	北老人福祉センター	北区八景水谷 1 丁目 2 番 6 号	昭和 48 年	46	294.51	○	○		○
9	川上老人福祉センター	北区梶尾町 1279 番地 1	昭和 46 年	48	655.55	○	○		○
10	西里老人福祉センター	北区徳王町 870 番地	平成 7 年	24	534.28	○	○	○	○
合　計					4,458.40				

高齢者生きがい作業所

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備 考
11	京町高齢者生きがい作業所	中央区京町 2 丁目 8 番 4 号	昭和 60 年	34	49.94	
12	水前寺高齢者生きがい作業所	中央区水前寺 4 丁目 47 番 49 号	昭和 60 年	34	171.20	陶芸窯あり
13	東部高齢者生きがい作業所	東区健軍 3 丁目 13 番 10 号	昭和 57 年	37	94.49	陶芸窯あり
14	花園高齢者生きがい作業所	西区花園 7 丁目 19 番 1 号	昭和 54 年	40	121.05	陶芸窯あり
15	白坪高齢者生きがい作業所	西区田崎 1 丁目 7 番 10 号	昭和 58 年	36	49.58	
16	西部高齢者生きがい作業所	西区高橋町 1 丁目 5 番 11 号	平成元年	30	193.82	陶芸窯あり
17	南部高齢者生きがい作業所	南区川尻 4 丁目 7 番 12 号	昭和 57 年	37	63.88	陶芸窯あり
合　計					743.96	

介護予防支援施設

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	保有機能		
						多目的ホール	会議室	調理室
18	東部はつらつ交流会館	東区秋津 3 丁目 17 番 23 号	平成 15 年	16	299.82	○	○	
19	お達者文化会館	南区馬渡 1 丁目 7 番 1 号	平成 12 年	19	245.17	○		
20	南部万年青会館	南区八幡 6 丁目 9 番 25 号	平成 13 年	18	494.60	○	○	○
合　計					980.11			

その他高齢者福祉施設

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備　考
21	高齢者技能習得センター	西区島崎 4 丁目 2 番 95 号	平成 12 年	19	82.50	
22	雁回敬老園	南区富合町木原 2316 番地	昭和 55 年	39	1,651.23	
合　計					1,733.73	



南老人福祉センター



水前寺高齢者生きがい作業所



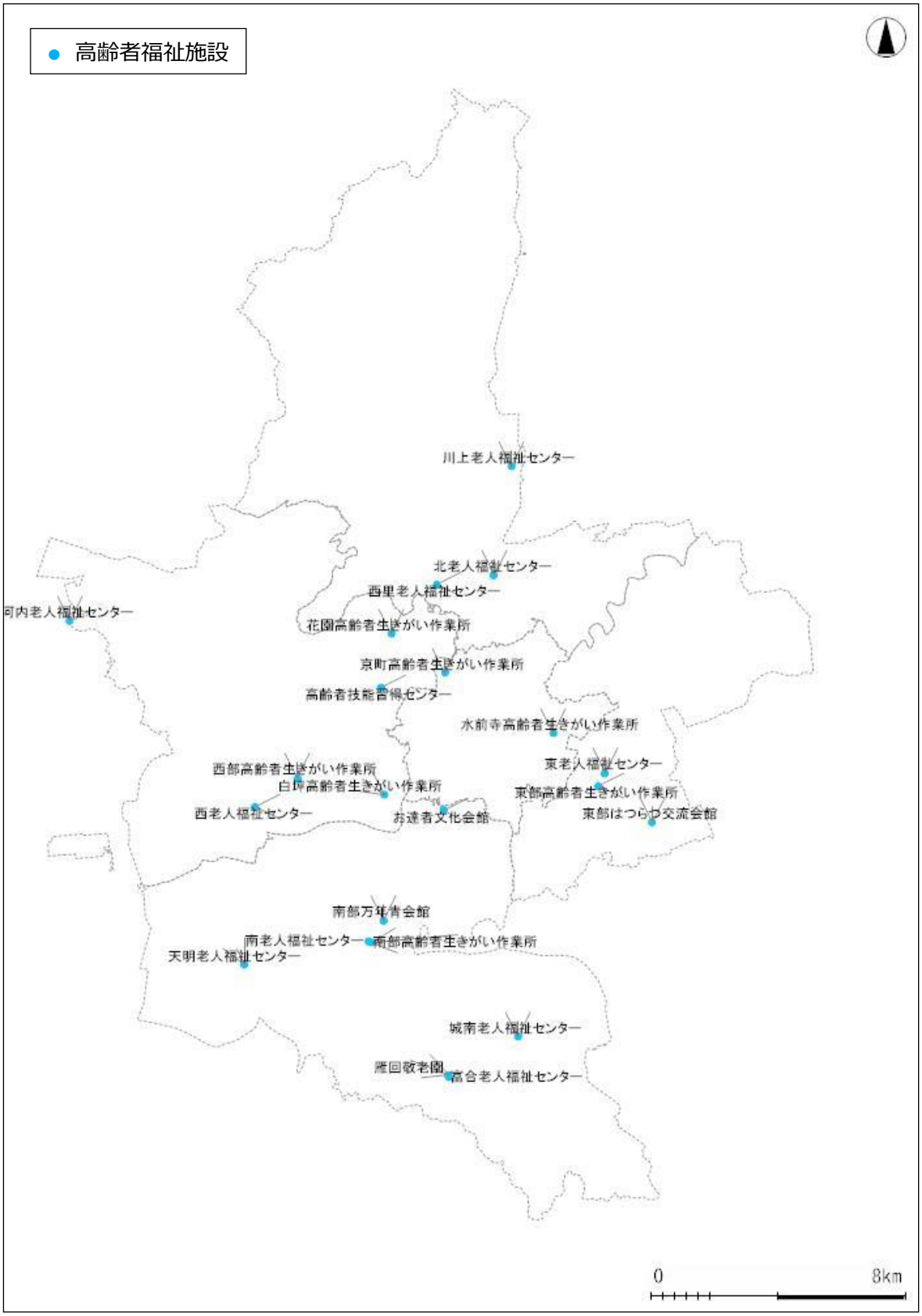
東部はつらつ交流会館



高齢者技能習得センター

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況

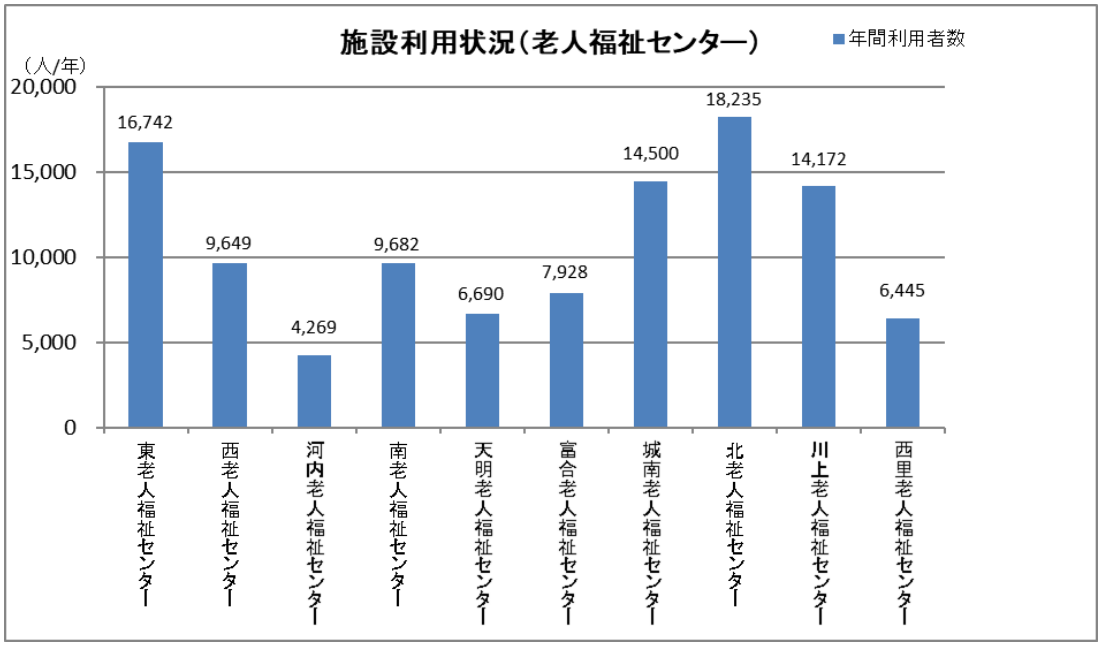
No	名　称	運営時間	休館日	運営日数	運営方法（直営、指定管理）	備　考
1	東老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
2	西老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
3	河内老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
4	南老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
5	天明老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
6	富合老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
7	城南老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
8	北老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
9	川上老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
10	西里老人福祉センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	290	指定管理	
11	京町高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
12	水前寺高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
13	東部高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
14	花園高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
15	白坪高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
16	西部高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
17	南部高齢者生きがい作業所	8:30～17:00	年末年始	360	直営	
18	東部はつらつ交流会館	9:00～22:00	月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始	308	指定管理	
19	お達者文化会館	9:00～22:00	月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始	308	指定管理	
20	南部万年青会館	9:00～22:00	月曜日（祝日の場合はその翌日）・年末年始	308	指定管理	
21	高齢者技能習得センター	9:00～17:00	日曜日・祝日・年末年始	292	指定管理	
22	雁回敬老園	―	年中無休	365	指定管理	

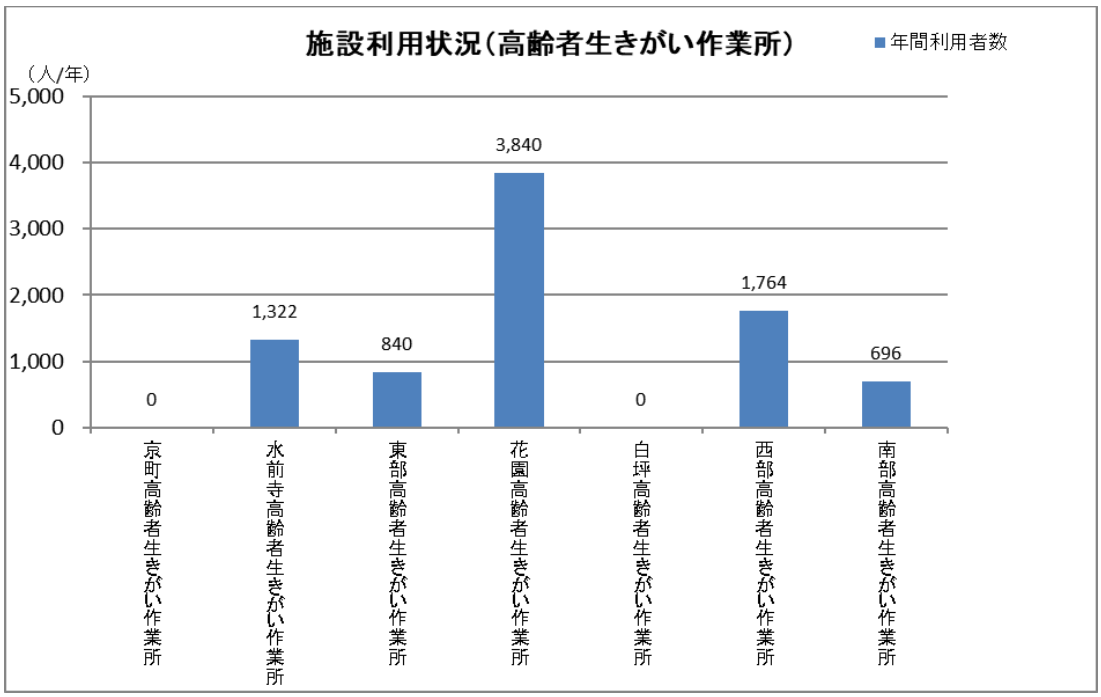
②利用状況

高齢者福祉施設の平成 30 年度の年間利用者数は全体で約 16 万 6 千人です。施設別では、老人福祉センターが約 10 万 8 千人で全体の約 65%、高齢者生きがい作業所は約 8 千人で全体の約 5%を占めていますが、施設ごとの利用者数に大きな差が見られます。介護予防支援施設は約 4 万 9 千人で全体の約 30%を占めています。

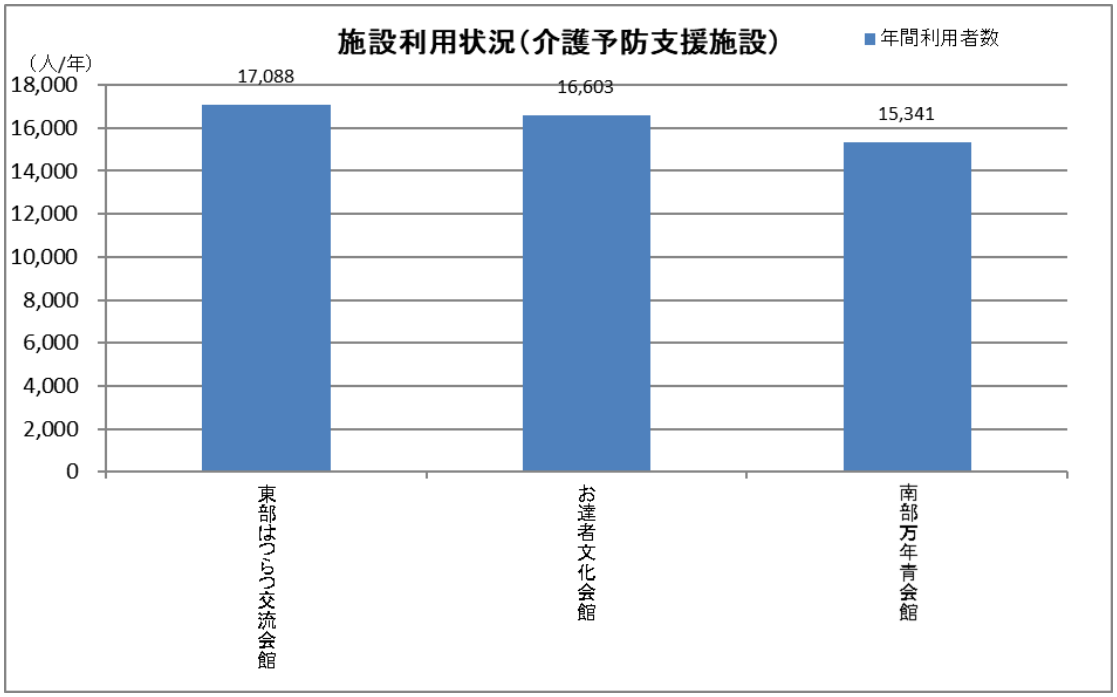
高齢者技能習得センターの利用者数は 2,301 人（全体の約 1%）で、雁回敬老園の利用者（入所者）は定員 50 人に対して 16 人となっています。

図表 施設利用状況（平成 30 年度）

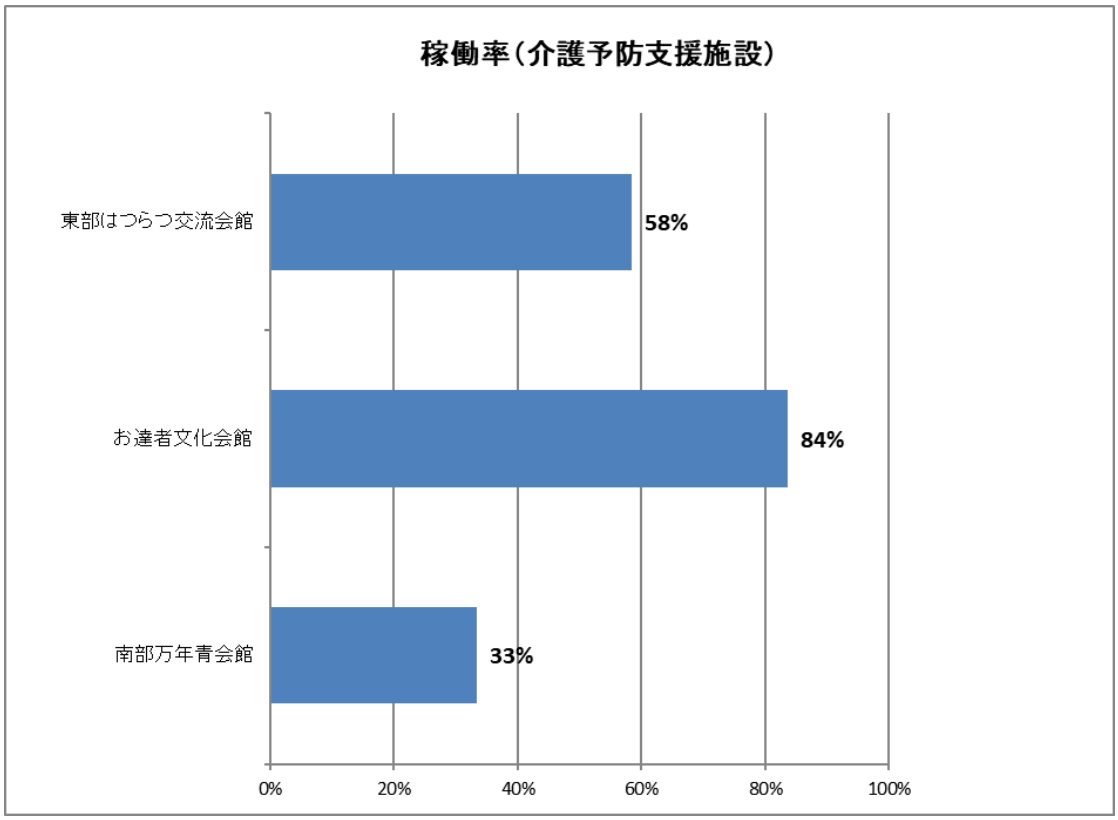




※ 京町高齢者生きがい作業所、白坪高齢者生きがい作業所については、利用者実績が不明。



図表　介護予防支援施設の施設稼働率（平成 30 年度）

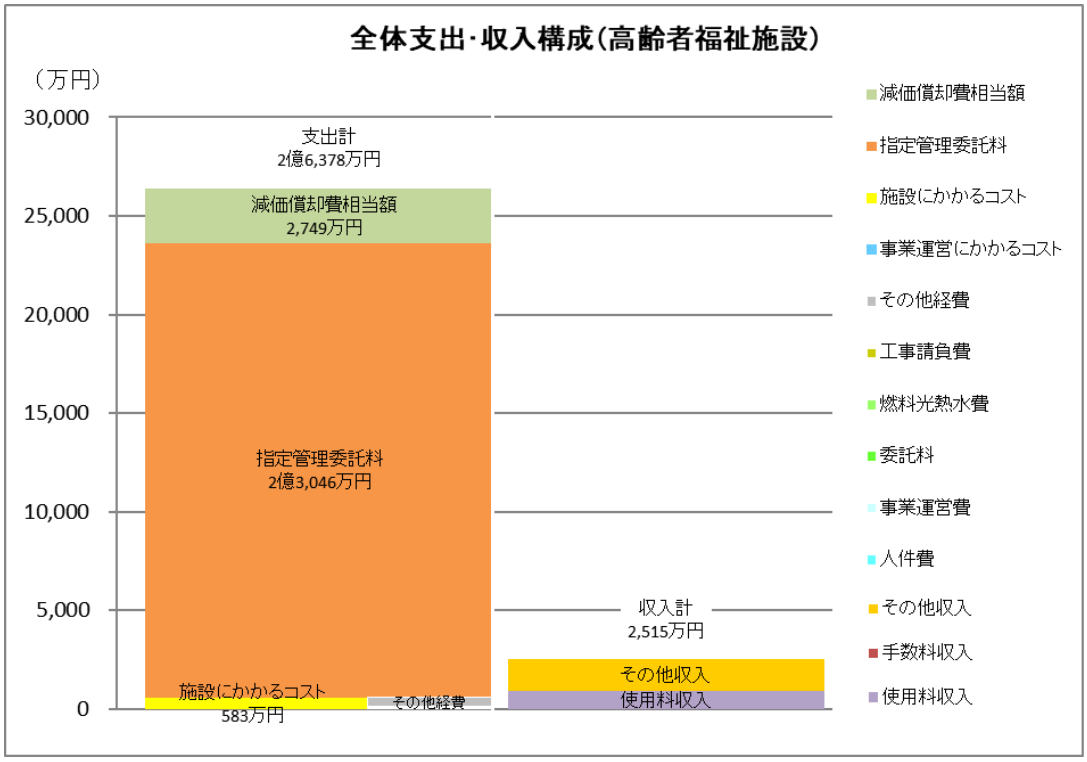


③コスト状況

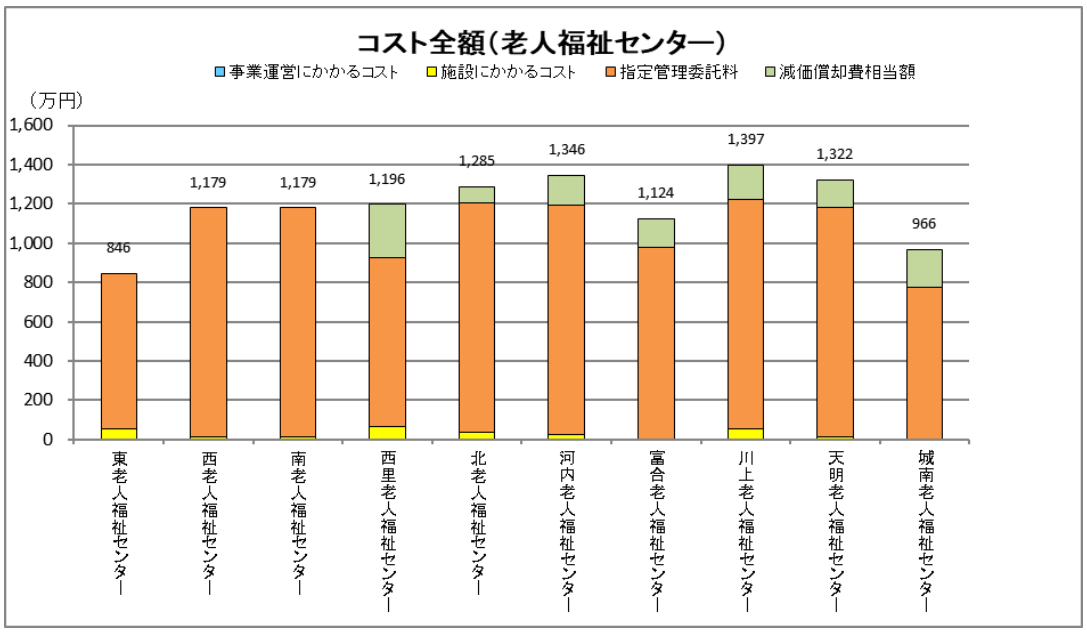
高齢者福祉施設全体の年間コストは 2 億 6,378 万円で、このうち、減価償却相当額が 2,749 万円（10%）、指定管理委託料が 2 億 3,046 万円（87%）です。施設分類別では、老人福祉センターが約 45%、高齢者生きがい作業所が約 0.4%、介護予防支援施設が約 13%、その他高齢者福祉施設が約 42%を占めています。

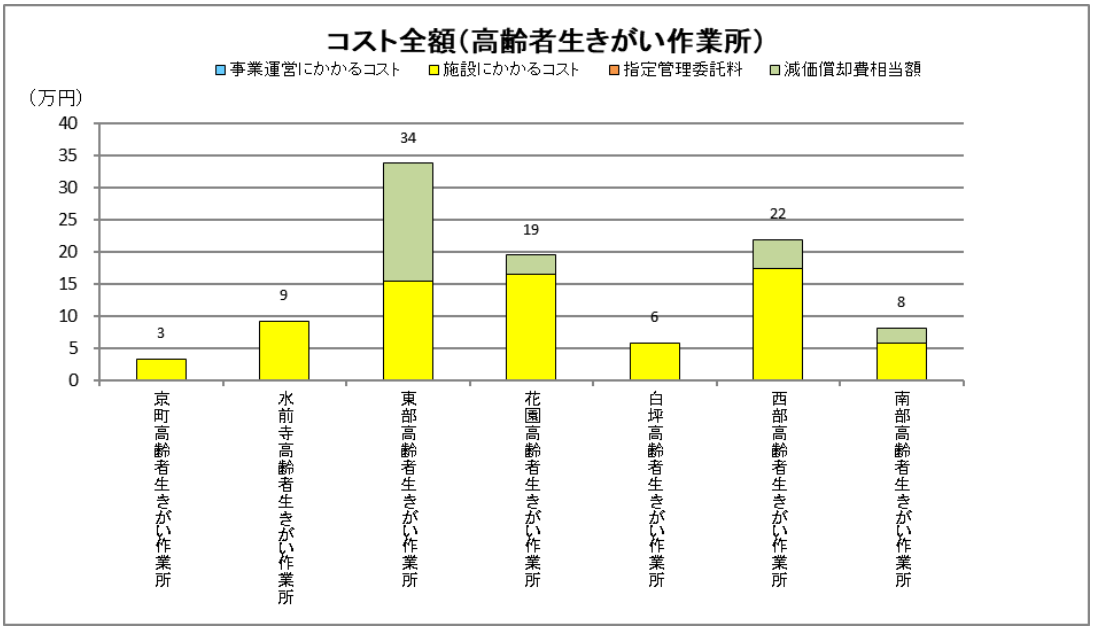
その他高齢者福祉施設のうち、雁回敬老園については、支出が約 1 億 470 万円で最も高くなっていますが、徴収金や負担金等により、支出の約 2 割程度の約 1,885 万円の収入があります。

図表　施設トータルコスト（平成 30 年度）

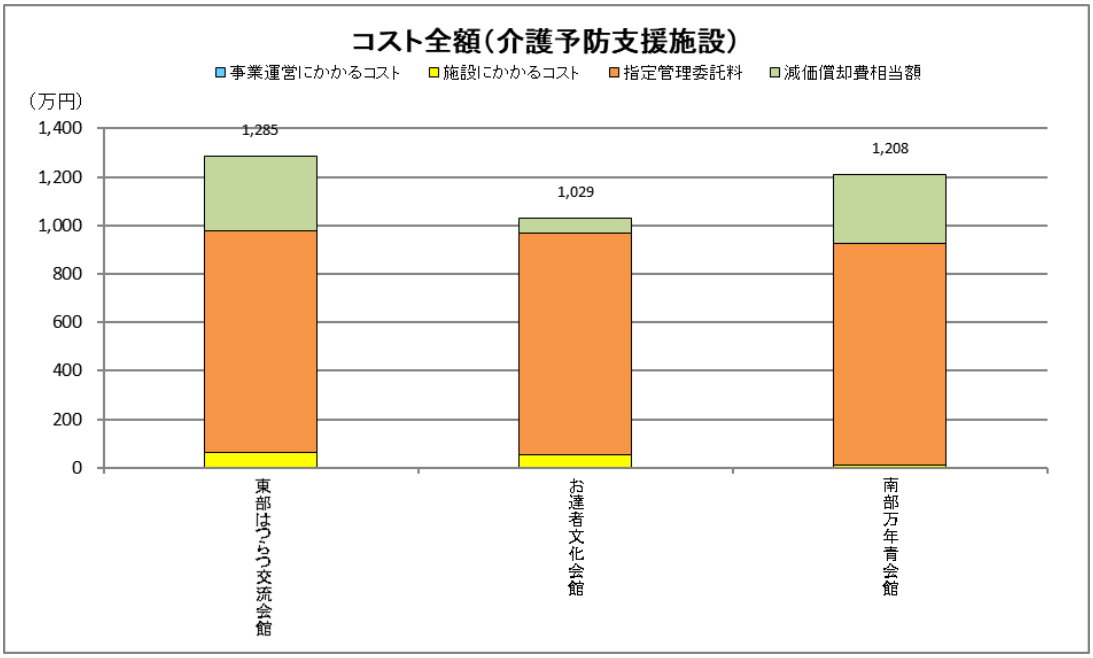


図表　施設別コスト一覧（平成 30 年度）





※白坪高齢者生きがい作業所のコストについては、白坪公民館とコストを一括して処理しているため、燃料光熱水費全額を床面積で按分した上で計上したもの。



図表　施設別コスト一覧（その他高齢者福祉施設）

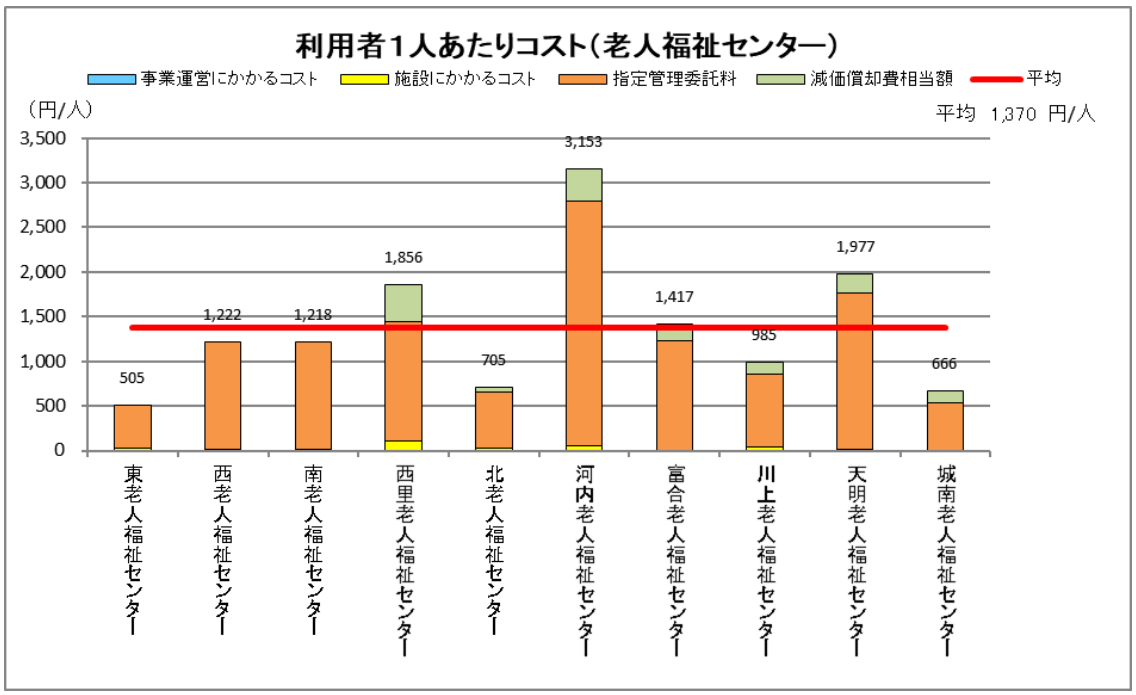
施　設　名	年間利用者数（人）	全体コスト（円）		利用者１人あたりコスト（円）	
		支出	収入	支出	収入
高齢者技能習得センター	2,301	4,449,865	－	1,934	－
雁回敬老園	16	104,699,322	18,846,563	6,543,708	1,177,910

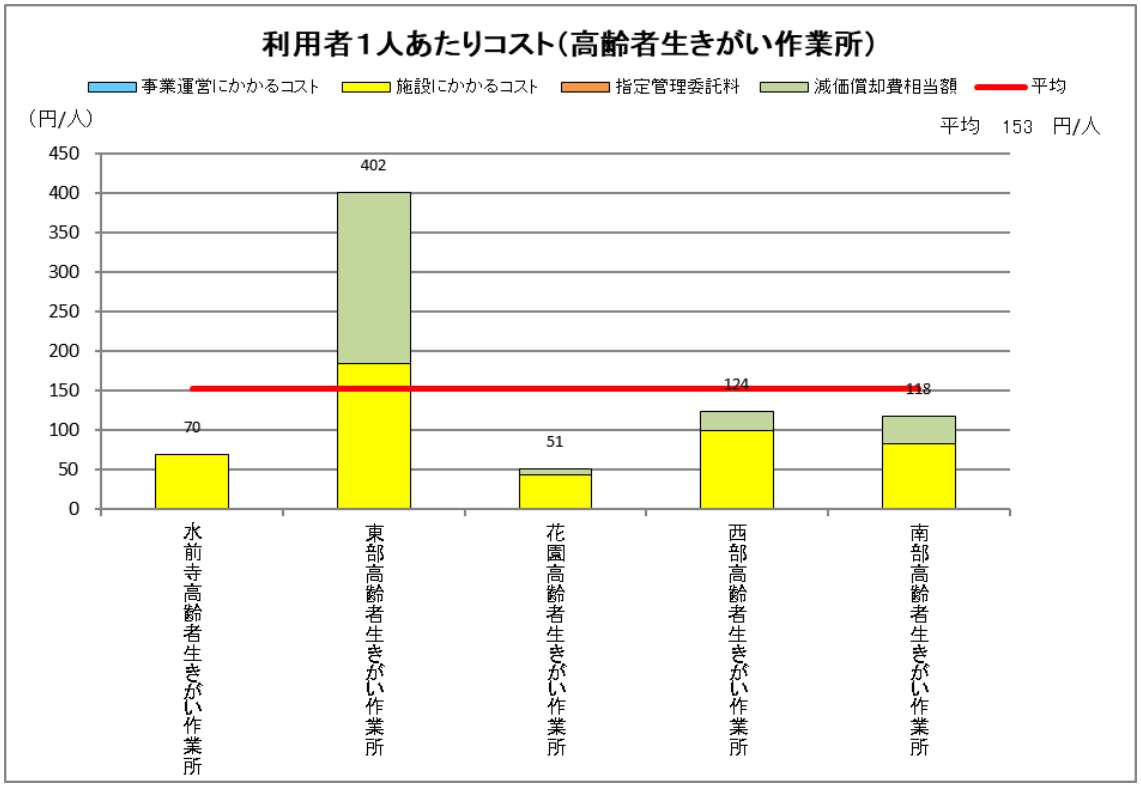
④評価・分析

施設別の利用者 1 人あたりコストの平均額は、老人福祉センターが 1,370 円／人、高齢者生きがい作業所が 153 円／人、介護予防支援施設が 720 円／人です。

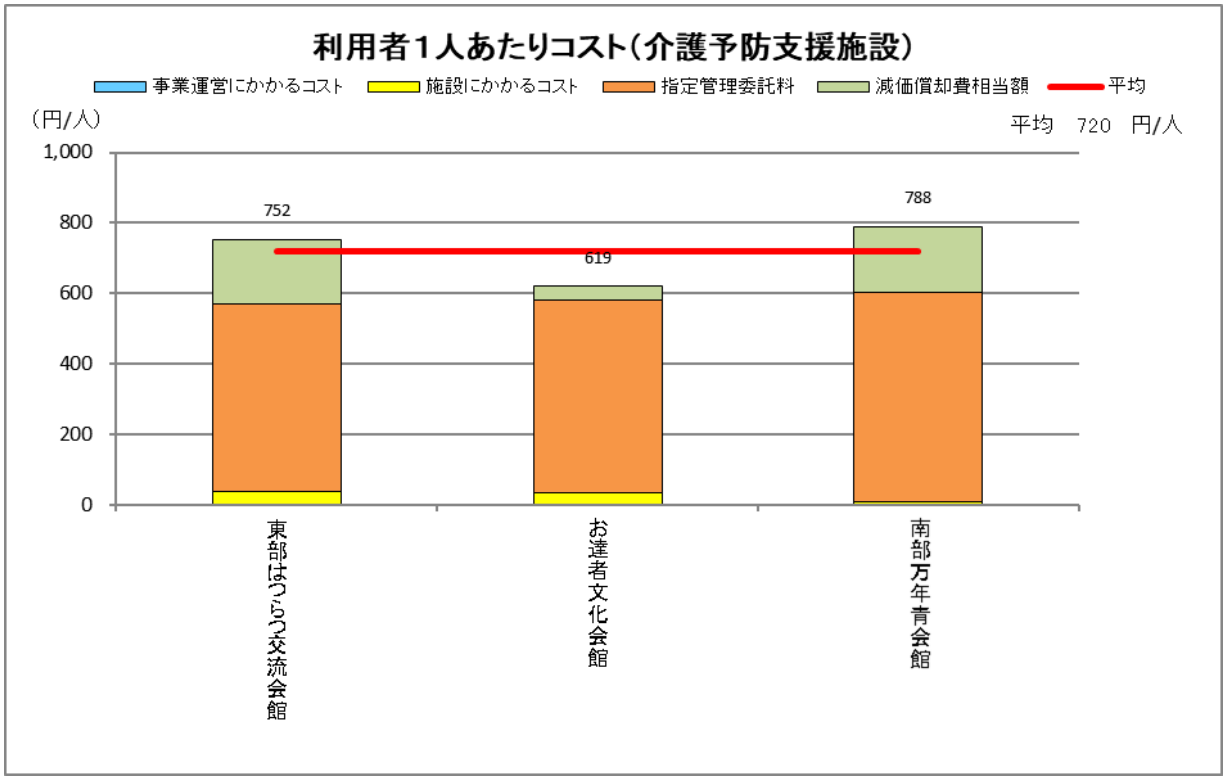
河内老人福祉センター利用者 1 人あたりコストが平均額の 2 倍以上と高い状況です。

図表　施設別の利用者 1 人あたりのコスト（平成 30 年度）

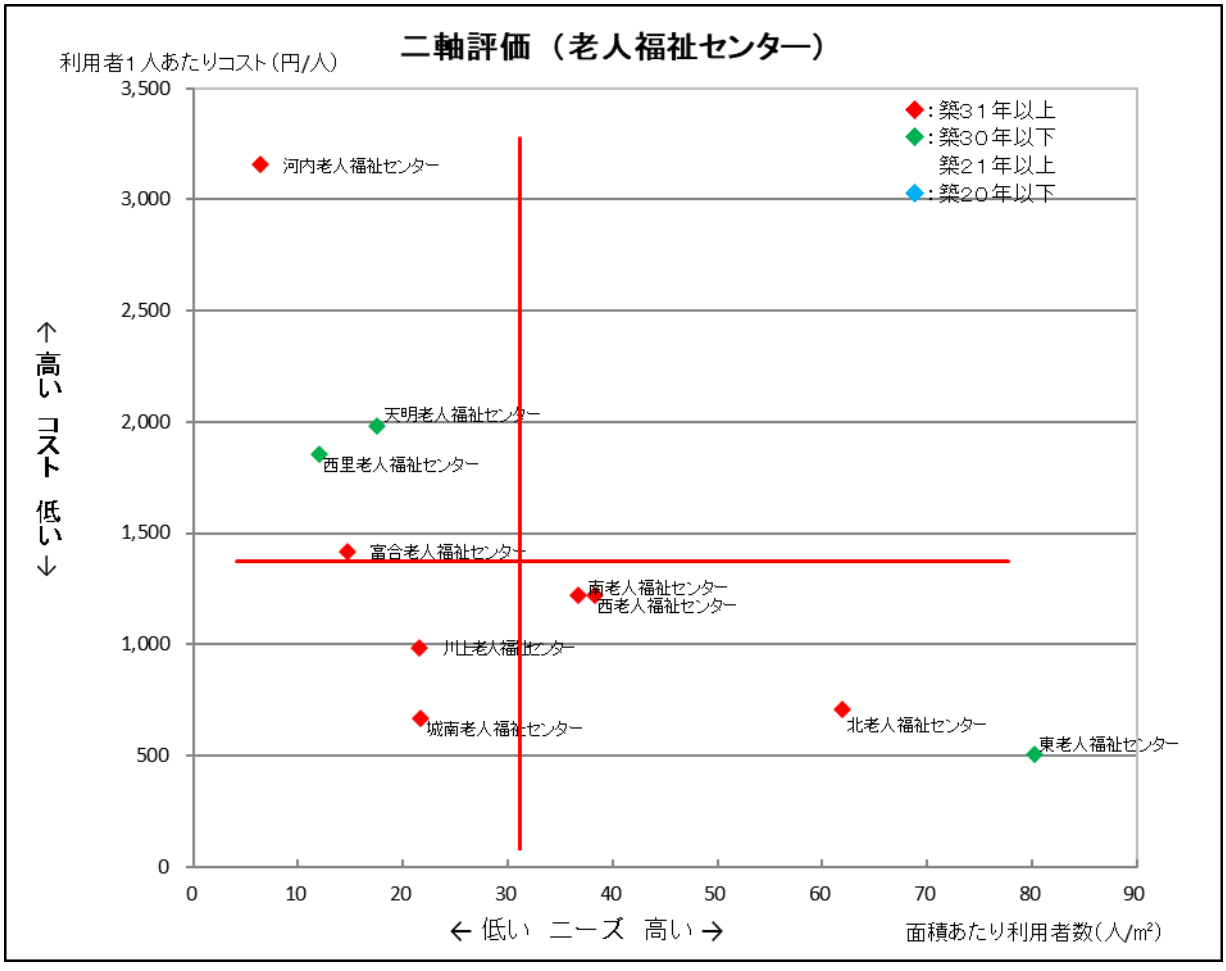


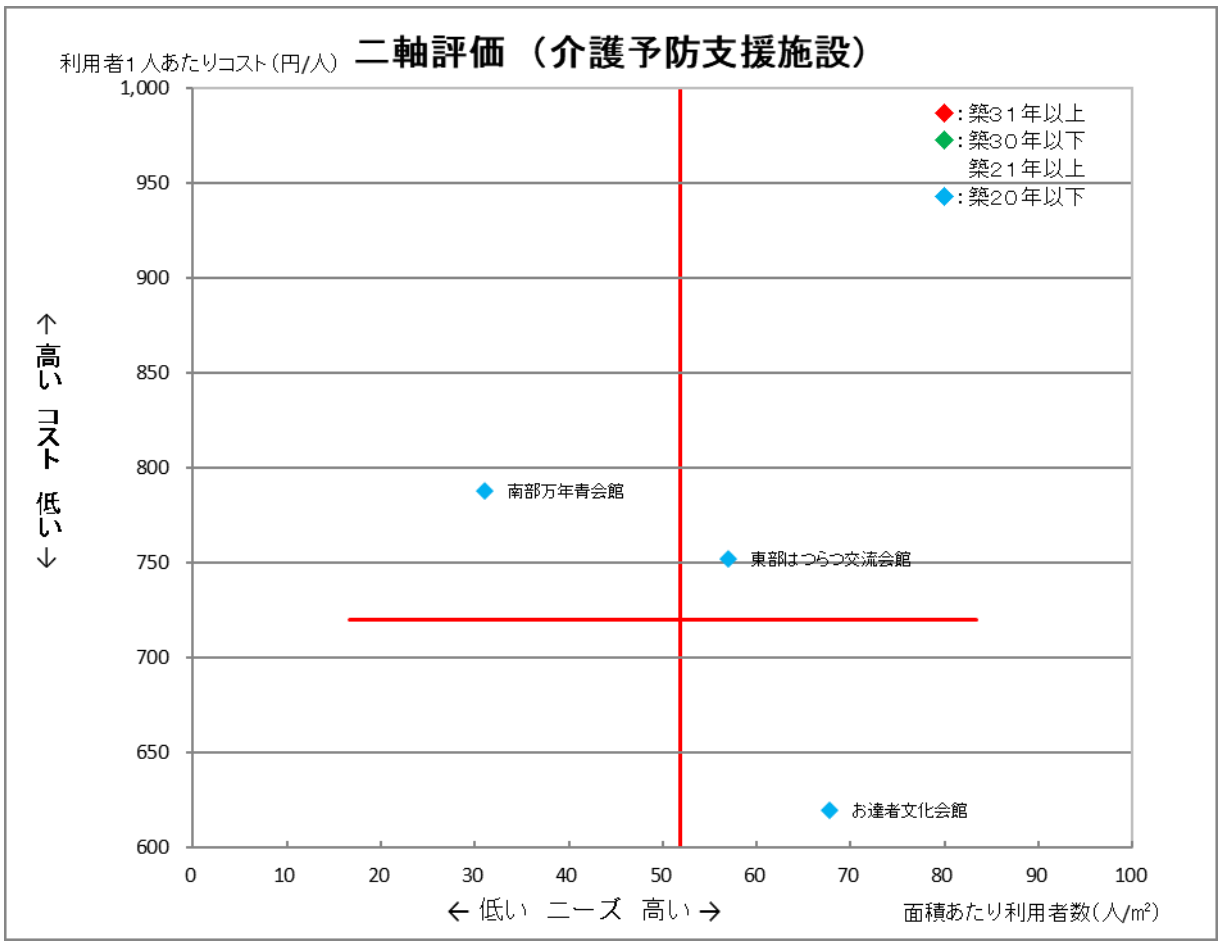


※　京町高齢者生きがい作業所、白坪高齢者生きがい作業所については、利用者実績が不明のため表示していません。



図表　二軸評価（平成 30 年度）





3）総合管理計画における施設分野別方針

方針1 資産総量の適正化

・老人福祉センター及び高齢者生きがい作業所については、老朽化した施設が多いため、施設ごとに統廃合を含めて今後の方針を検討し、老朽化対策や施設機能の見直しに取り組みます。

・雁回敬老園については、公設の養護老人ホームとしての役割を検証するとともに、個室化や民営化など、施設のあり方について検討します。

方針2 施設の長寿命化の推進

・介護予防施設については、利用実態の把握を行いながら、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

（17）保健･福祉施設：障害者福祉施設

1）施設概要

本市の障害者福祉施設は、1 施設あります。延床面積は約 2 千㎡で、築後 39 年が経過しています。希望荘では、障がい者及びボランティアの方を対象に、各種講座やふれあい総合相談所の開設をはじめ、大ホール、会議室などの貸室や入浴・機能訓練等のサービスを行っています。

①施設一覧（平成 31 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	施設機能
1	障害者福祉センター希望荘	中央区大江 5 丁目 1 番 15 号	昭和 55 年	39	1,923.62	大ホール、音楽室、パソコン室、和室研修室×2、会議室×2、料理実習室、プレイルーム、浴室、多目的訓練室など

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）

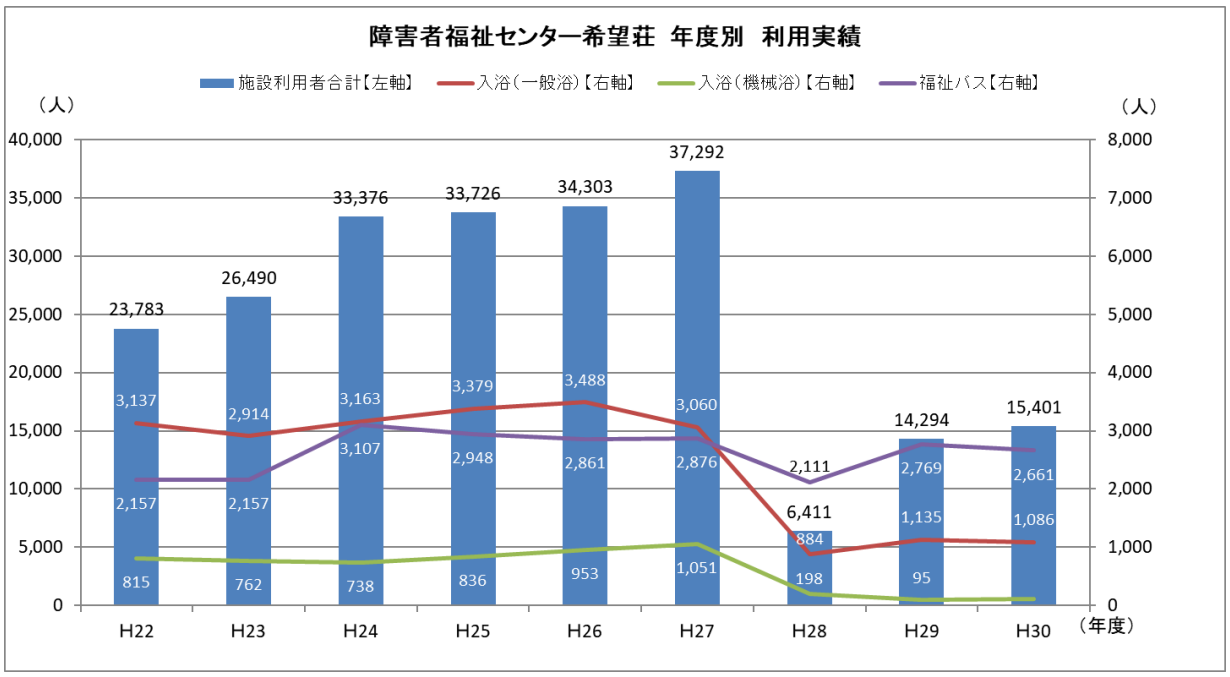


2）実態把握

①利用状況

希望荘は、平成 31 年 3 月に災害復旧工事が完了したため、現在は元の場所で事業を実施しています。

図表　障害者福祉センター希望荘　年度別　利用実績（過去 9 年分）



※平成 28 年度から平成 30 年度の利用実績は、代替施設の利用実績を含む。

3）総合管理計画における施設分野別方針

方針 2　施設の長寿命化の推進

・障害者福祉センター希望荘は、被災状況の調査中ですが、施設の老朽化が進みつつあることから継続的に使用する場合には、適切なメンテナンスに努め、施設の長寿命化を図ります。

方針 3　施設運営に要する総コストの削減

・継続して施設を使用する場合には、運営手法のあり方や浴室の利用料金等について検討を行い、収支ギャップを埋める取り組みを進めます。

4）駐車場の活用について

希望荘から道路を挟んで北側に駐車場を 39 台分確保し、施設利用者のための駐車場として利用されています。

当該駐車場は、平成 14 年度に九州郵政局から購入した土地を駐車場として整備し、現在に至っています。

隔週または毎月定期的に開催される絵画、陶芸等の主催講座や、手話や和裁等の自主講座開催時は満車に近い利用状況ですが、平日は低利用にとどまっているという課題があります。

公共施設の駐車場については、利用状況の調査を行い、有効活用に向けた管理方法の検討が現在進められており、中心市街地に近い当該駐車場においても、利活用に向けた検討が必要です。



障害者福祉センター希望荘

（18）保健･福祉施設：児童福祉施設

1）施設概要

本市の児童福祉施設は、1 施設あります。延床面積は約 5 千㎡で、築後 8 年が経過しています。こどもセンターでは、児童相談所をはじめ、障がい者福祉相談所、教育相談室を開設しています。

①施設一覧（平成 31 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	フロア構成
1	こどもセンター	中央区大江 5 丁目 1 番 50 号	平成 23 年	8	4,808.51	4F　児童相談所 3F　児童相談所 2F　教育相談室 1F　障がい者福祉相談所

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①利用状況

平成 30 年度の相談件数は、児童相談所が 2,393 件、教育相談室が 2,584 件でした。

図表　児童相談対応件数（平成 26 年度～30 年度）

（件）

相談種別		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
養護相談	児童虐待相談	485	604	570	703	908
	その他の養護相談	395	421	493	471	406
障害等相談		642	695	668	644	683
	うち療育手帳判定件数	625	654	611	592	667
非行相談		124	106	111	71	77
育成相談	性格行動相談	123	123	282	156	158
	不登校相談	62	60	63	52	44
	適性相談	1	0	1	0	0
	育児・しつけ相談	24	24	17	51	18
その他の相談		134	170	79	124	99
計		1,990	2,203	2,284	2,272	2,393

図表　教育相談対応件数（平成 26 年度～30 年度）

（件）

相談種別	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
発達や就学	1,761	1,795	1,864	2,098	1,895
不登校	1,160	970	1,014	805	674
その他	18	8	12	0	15
計	2,939	2,773	2,890	2,903	2,584

また、障がい者福祉相談所では身体や知的に障がいのある方からの相談のほか、身体障害者手帳の認定や療育手帳の判定とそれらの交付、補装具の処方・適合判定などを行っています。

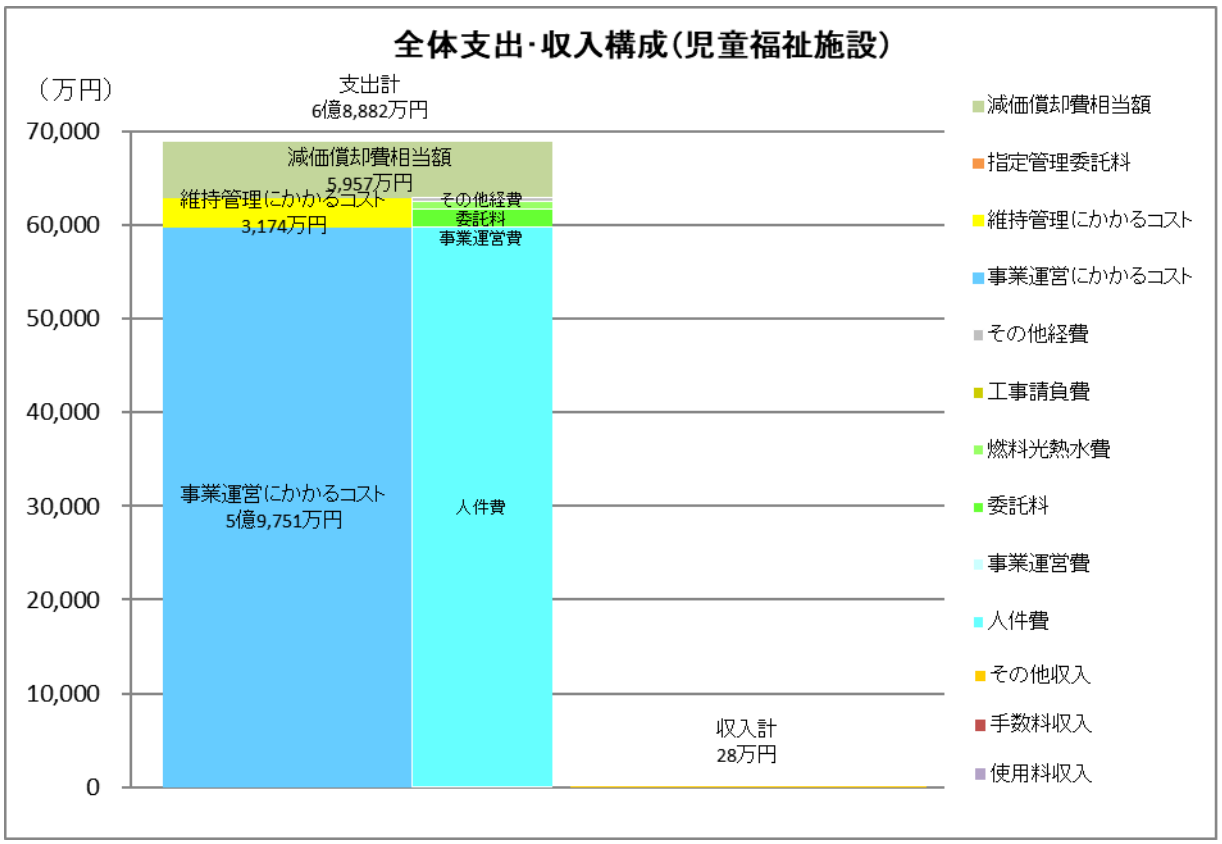


こどもセンター

②コスト状況

年間トータルコストは約 6 億 9 千万円です。このうち、減価償却費相当額は約 6 千万円（9%）維持管理にかかるコストは約 3 千万円（5%）、事業運営にかかるコストは約 6 億円（87%）となっています。

図表　施設トータルコスト（平成 30 年度）



3）総合管理計画における施設分野別方針

方針2　施設の長寿命化の推進

・こどもセンターについては、スペースの有効活用策を検討しながら、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

（19）保健･福祉施設：保健施設

1）施設概要

本市の保健施設は、10 施設あります。これらから区役所等に入っている施設を除くと、施設数は 4 施設で総延床面積は約 1 万 1 千㎡で、これは市が保有する施設の 0.5%を占めています。

4 施設の築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 1 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 2 施設、築 20 年以下が 1 施設です。

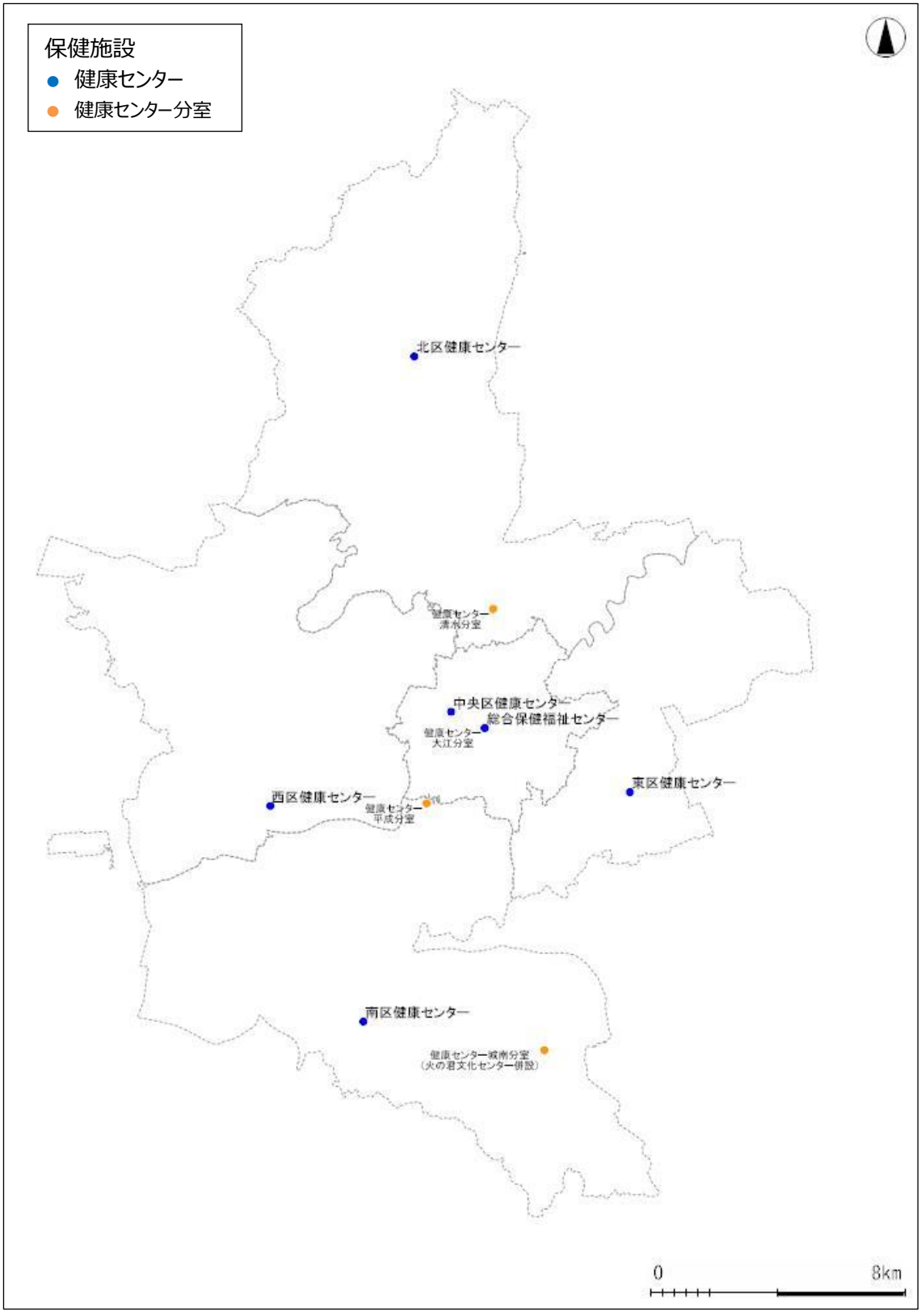
①施設一覧（平成 31 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所管区域	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）
1	総合保健福祉センター	—	中央区大江 5 丁目 1 番 1 号	平成 19 年	12	8,002.65
2	中央区健康センター	中央区	中央区手取本町 1 番 1 号※中央区役所内	—	—	—
3	健康センター大江分室		中央区大江 5 丁目 1 番 1 号 ※総合保健福祉センター内	—	—	—
4	東区健康センター	東区	東区東本町 16 番 30 号 ※東区役所内	—	—	—
5	西区健康センター	西区	西区小島 2 丁目 7 番 1 号 ※西区役所内	—	—	—
6	南区健康センター	南区	南区富合町清藤 405 番地 3 ※南区役所内	—	—	—
7	健康センター平成分室		南区平成1丁目 10 番 8 号	平成元年	30	1,370.86
8	健康センター城南分室 （火の君文化ホール併設）		南区城南町舞原 394 番地1	平成 9 年	22	485.66
9	北区健康センター	北区	北区植木町岩野 238 番地 1 ※北区役所内	—	—	—
10	健康センター清水分室		北区清水本町 16 番 10 号	昭和 57 年	37	1,369.61
合　計						11,228.78

※上記 2・3・4・5・6 及び 9 については、それぞれ各区役所等の施設の掲載箇所で建築年度等を掲載

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況

No	名　称	所管区域	運営時間	休業日等	備考
1	総合保健福祉センター	—	2F～4F 8:30～17:15 1F 8:30～21:00	2F～4F 土曜日・日曜日・祝日・年末年始 1F 第 2 木曜日・年末年始	複合施設 4F 熊本市保健所 3F こころの健康センター ひきこもり支援センター「りんく」 中央区保健子ども課健康センター大江分室 障がい保健福祉課精神保健福祉室 健康づくり推進課 2F 子ども発達支援センター 子ども・若者総合相談センター 発達障がい者支援センター（みなわ） 1F 市民活動支援センター
2	中央区健康センター	中央区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	健診スペースは大江分室のみ
3	健康センター大江分室		※健診等実施日のみ施設使用		総合保健福祉センター3F
4	東区健康センター	東区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	東区役所3F
5	西区健康センター	西区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	西区役所3F
6	南区健康センター	南区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	南区役所3F
7	健康センター平成分室		※健診等実施日のみ施設使用		
8	健康センター城南分室 （火の君文化ホール併設）		※健診等実施日のみ施設使用		
9	北区健康センター	北区	8:30～17:15	土曜日・日曜日・祝日・年末年始	北区役所 1F
10	健康センター清水分室		※健診等実施日のみ施設使用		

（参考）　1 歳 6 か月児及び 3 歳児健康診査受診者数（各区健康センター及び分室ごと）

区名	健康診査		備考
	1 歳 6 か月	3 歳	
中央区	1,509	1,298	
東区	1,799	1,844	
西区	725	762	
南区	1,428	1,469	
うち平成分室	1,200	1,233	分室運営日数　年間 36 日（H30）※左記検診のみ
うち城南分室	228	236	分室運営日数　年間 21 日（H30）※左記検診のみ
北区	1,245	1,370	清水分室のみでの実施
うち清水分室	1,245	1,370	
合計	6,706	6,743	

（参考）総合保健福祉センター内各施設（保健所・健康センター分室除く）について

名称	主な事業等	H30 主な実績	
		項目	件数
こころの健康センター	・精神保健福祉相談（こころの健康相談）及び指導 ・人材育成、教育研修、普及・啓発、関係機関への技術支援 ・自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳の判定　など	電話相談（延べ）	6,562
		面接件数（延べ）	467
子ども発達支援センター	障がい又は障がいの疑いのある子どもに対して個々の発達に応じた支援を実施 （医師、心理相談員等による相談、診察、検査、初期支援など）	電話相談	5,202
		来所相談	3,825
子ども・若者総合相談センター	・子ども・若者に関するあらゆる相談を電話・面接・メール・FAXで対応し、助言や情報の提供を実施 ・緊急性や専門性が高い相談は関係機関との連携対応を実施	相談件数	7,433
市民活動支援センター （あいぽーと）	NPO・ボランティア団体等が取り組む市民公益活動に必要な情報や活動の場（セミナー室、イベントコーナー）の提供	利用人数	89,970

3）課題　総合管理計画における施設分野別方針

方針2　施設の長寿命化の推進

・各区役所内の健康センターについては、庁舎機能と一体的に適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

方針3　施設運営に要する総コストの削減

・旧保健福祉センターを中心とした分室については、スペースの有効活用を進めますが、特に健診手法のあり方について、必要性や効果の面から検証を行い、他の用途への転用も視野に検討を行います。

（20）保健･福祉施設：その他社会福祉施設

1）施設概要

本市のその他社会福祉施設は、5 施設あります。総延床面積は約 5 千㎡で、市が保有する施設の 0.3%を占めています。

築年数の状況は、築 21 年以上 築 30 年以下が 2 施設、築 20 年以下が 3 施設です。

①施設一覧（平成 31 年 4 月 1 日現在）

No	名　　称	所在地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備　考
1	東部在宅福祉センター	東区健軍本町 31 番 20 号	平成 6 年	25	593.02	
2	南部在宅福祉センター	南区日吉 1 丁目 4 番 15 号	平成 5 年	26	831.90	
3	すこやか交流広場	南区御幸笛田 8 丁目 1534 番地 1	平成 19 年	12	28.06	
4	夢もやい館	北区楠 1 丁目 20 番 5-101 号	平成 14 年	17	903.66	
5	植木健康福祉センター（かがやき館）	北区植木町岩野 285 番地 29	平成 14 年	17	3,072.52	
合　計					5,429.16	

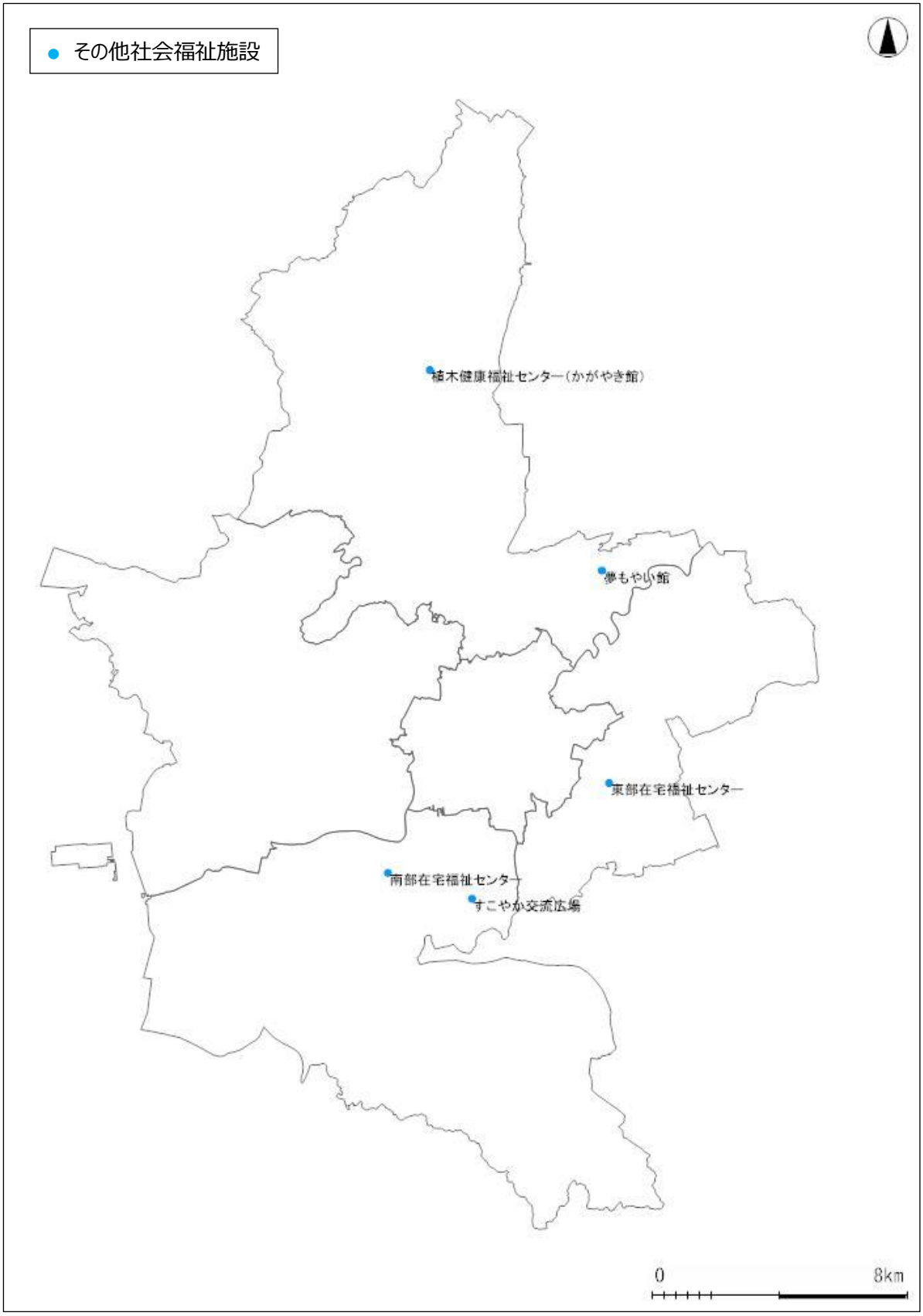
No	名　　称	設置目的	主な利用者
1	東部在宅福祉センター	住民の福祉活動及び交流活動を推進する	一般利用者
2	南部在宅福祉センター	住民の福祉活動及び交流活動を推進する	一般利用者
3	すこやか交流広場	農業体験を通じた自然とのふれあいや世代間交流を図ることにより、次代の社会を担う子どもたちの心豊かな成長と市民の健康づくりに寄与する	保育所、学校、子ども会等の団体
4	夢もやい館	高齢者の健康維持及び介護予防を支援し、元気に生き生きとした自立生活の助長を図り、次世代を担う子供たちの子育てを支援し、健全な発達を図るとともに、相互が交流することにより地域社会のふれあいと連携を深め、もって、市民の福祉の向上に資する	60 歳以上の高齢者、就学前児童及び保護者
5	植木健康福祉センター（かがやき館）	住民の生涯を通じた健康づくり並びに高齢者及び障害者の社会参加を促進する	一般利用者



夢もやい館

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 31 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

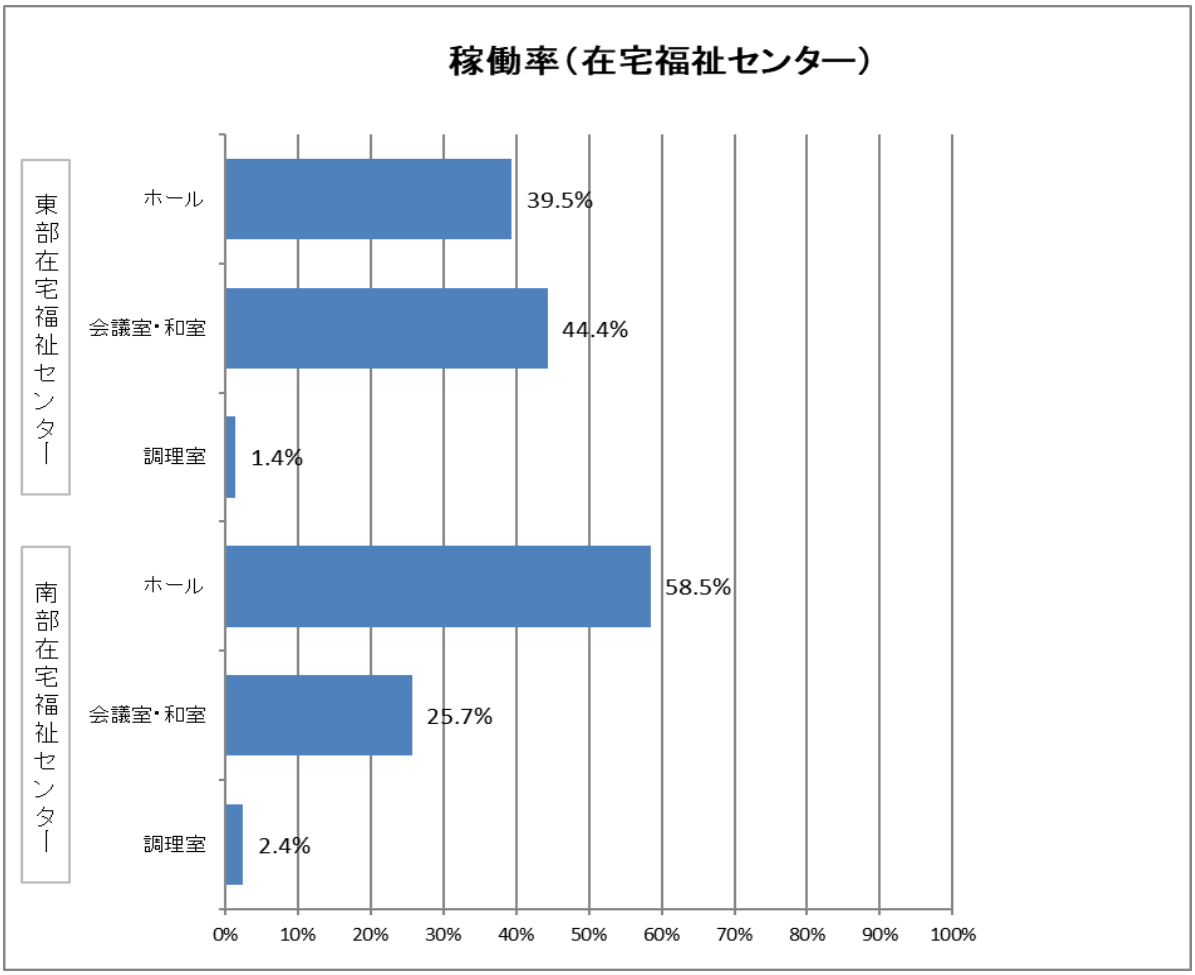
①運営状況

No	名　称	運営時間	休館日	運営日数	運営方法	備　考
1	東部在宅福祉センター	9:00～22:00	日曜日・年末年始	305	指定管理（利用料金）	
2	南部在宅福祉センター	9:00～22:00	日曜日・年末年始	305	指定管理（利用料金）	
3	すこやか交流広場	7:00～19:00	駐車場のみ年末年始閉鎖	359	直営	
4	夢もやい館	9:00～20:00	日曜日・祝日・年末年始	292	指定管理（利用料金）	
5	植木健康福祉センター（かがやき館）	9:00～21:00	月曜日（月曜日が休日にあたるときはその直後の休みでない日）・年末年始	78	指定管理（利用料金）	※

※熊本地震に伴う災害復旧工事のため、平成 30 年 7 月から平成 31 年 3 月は休館

※植木温泉福祉交流館については、平成 31 年 3 月で用途廃止

②在宅福祉センターの利用状況（平成 30 年度）



③コスト状況

施設別コスト及び利用者数は以下のとおりです。

図表　施設別コスト一覧（平成 30 年度）

No	名　称	年間利用者数（利用件数）	全体コスト		利用者 1 人(1 件)あたりコスト	
			支出	収入	支出	収入
1	東部在宅福祉センター	15,208 人	18,529,948 円	－	1,218 円/人	－
2	南部在宅福祉センター	16,494 人	19,871,663 円	－	1,205 円/人	－
3	すこやか交流広場	2,609 件	1,377,473 円	38,000 円	528 円/件	15 円/件
4	夢もやい館	46,205 人	36,044,442 円	7,812,892 円	780 円/人	169 円/人
5	植木健康福祉センター（かがやき館）	21,488 人	53,663,085 円	1,677,348 円	2,497 円/人	78 円/人

※植木温泉福祉交流館については、平成 31 年 3 月で用途廃止

3）総合管理計画における施設分野別方針

方針 1　資産総量の適正化

・2 ヶ所の在宅福祉センターについては、地域コミュニティセンターや公設公民館で機能を代替できないか検討します。
・検討結果を踏まえ、更なる利活用策や用途転用等の可能性についても研究します。
・植木温泉福祉交流館については、利用状況や課題を踏まえ、今後のあり方を検討します。

方針 2　施設の長寿命化の推進

・その他の施設は、スペースの有効活用策や利用者のニーズに応じた運営を行いながら、適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を進めます。